

広隆寺の牛祭り

広隆寺の牛祭りは、円仁（慈覚大師）によって始められたという。

行列は夜の八時から始まるが、魔多羅神の提灯は朝から家の戸口に飾られていて・・・
祭りは朝から始まっている。蚕ノ社では朝から神幸祭の神輿行列が始まり、夜になって広隆寺の牛祭りが始まるのである。

残念ながら、広隆寺の牛祭りは、現在、休止の状態で見ることができない。もうずいぶん昔からやっていないとのこと。もともと恒例の祭りではなかったので、いつとはなしにやらなくなったとのこと。休止の特別の理由はないらしい。

広隆寺の牛祭りの様子については、「猫額房 M&A」という人が動画を作っておられるので、まずそれをご覧いただきたい。大変貴重なものである。

https://www.youtube.com/watch?v=V_p4m7SClKw

さて、私は、まだ、広隆寺の牛祭りを実際に見に行って、その紹介を行ったので、それを今改めて紹介しておきたい。

さあ、広隆寺についた。いよいよか。

あの提灯も着いて、お待ちかね。

人も三々五々集まってきた。

行列のあと祭文を読み上げる舞台の前には席をとる人が・・・。

牛祭りのお面を買う人たち。

こんなのもある。

[青鬼] [赤鬼]

いよいよ行列の開始だ。

魔多羅神の提灯を掲げて各町内の人たちが行く。

三十二町内会の代表が魔多羅神の提灯を高々と掲げて行列に参加する。

松明も行く。

来た。来た。鬼が来たぞ！

赤鬼だあ！

魔多羅神も見えてきた。

来た。来た。

確かに来た。

確かに牛だ！

魔多羅神は確かに牛に乗ってやって来た！

さあ、急いで舞台の方に行こう！

先頭の提灯がやって来た。

提灯が勢ぞろい・・・！

魔多羅神も舞台に到着。

これから何が始まるのやら・・・。

祭文の読み上げが始まった！

薬師堂の前にしつらえた祭壇で、

魔多羅神がまず祭文を読み、四匹の鬼がそれに唱和する。

神明を祭るは超福のはかりごと、霊鬼を敬うは除災の基なり！